

校長室より

「天空高き」



第130号



令和2年2月1日

本当に大事なものは目には見えないー感性を磨くー

てぶくろのなかには
それはいっけんただしけれど
ほんとうはべつにある

てぶくろのなかには
あたたかさがはいつている

てぶくろのなかみは
あたたかさは
じっさいはめにみえないけど
てをいれればわかる

たいせつなものもそんなように
みえないけれど かんじることが
できるもの

堀江菜穂子（ほりえなおこ）
平成6年生まれ。出産時のト
ラブルで重度の脳性麻痺を患
う。体はほとんど動かせず、
言葉も話せない。自宅の居間
に据えたベッドで両親の介助
を受けて暮らす。東京都立特
別支援学校中学部の頃に詩作
を始める。詩集に『生きてい
てこそ』

生きて
いてこそ 自筆
堀江菜穂子

「とても簡単なことだ。ものごとはね、心で見なくてはよく見えない。いちばんたいせつなことは、目に見えない」この文章は、『星の王子さま』（サン＝テグジュペリ）の中で、キツネが王子さまに言った言葉です。

手袋の中の「あたたかさ」、「幸せ」や「感謝」、「尊敬」、「責任感」などは、全部感じるもので目には見えません。目には見えないものを感じ取る力が「感性」だと、私も思います。

感性は日々の生活の中で徐々に磨かれていきます。

庭や校庭に咲いている花や公園に行って自然に触れる。ライブやコンサートに出かけたり、写真展や芸術作品を見に行くなど、音楽や芸術を体感する。読書に親しみ、知識を蓄える。旅に出て、知らない土地の知らない風景や人々に出会う。新しいことにチャレンジして、それまで知らなかったことや人々に出会う。

皆さんひとり一人が持っている五感を磨き高めていくことで、日々の小さな幸せに喜びや感謝を持てるようになり、自然と笑顔が多くなっていくと思います。

能力は磨いた分だけ、努力は重ねた分だけ、足し算で積みあがっていく

私たちが目に見えるものは、ほんの一部でしかありません。本質は目に見えない部分にあります。目に見えない部分を大切にしてください。

2月の月間目標

時を守り 場を清め
礼を正す

令和元年度
チャレンジ目標

- 1 挨拶 先に明るく元気に
- 2 先を見据えた行動 5分前行動
・登下校のマナーに心掛ける
- 3 整理整頓
- 4 1%を誰かのために

1月は「行って」、2月は「逃げて」、3月は「去る」と言われるように、3学期は本当に短い学期です。

3年生は4月からは新しい世界に身を置きます。2年生の皆さんは、最上級生に、1年生は先輩と呼ばれる学年に進級します。

「時を守り」とは時間を守ることです。この意味は、相手を尊重することであり、それにより自分が信用を積み重ねることになります。予定の開始5分前に姿勢を正し、心を静め、開始を待ちましょう。

「場を清め」とは掃除をすること。掃除をすることの意味は、5Kで表されます。気づく人になれる、心を磨く、謙虚になれる、感動の心をはぐくむ、感謝の心がめばえる、です。1つでも足元のゴミを拾えば、1つだけきれいになります。

「礼を正す」とは、挨拶をすること、返事をするということです。その意味は、心を開いて相手に迫るといことです。人より先に、相手が聞こえる大きな声で、相手が気持ちよくなる挨拶をする。「おはようございます!」。そして、呼ばれたら大きな声で「ハイ!」。必ず人間関係がよくなります。

普段の当たり前のことを当たり前にすることで、皆さんは、もう一歩高いレベルに到達することができます。

2月が一番短い月なのはなぜ？

2月になり、ふと、この月だけが28日なのか？

今年は閏年なので29日ですが、それでも他の月は30日か31日です。2月が一番短い月であることには変わりありません。皆さんはその理由を知っていましたか？

現在は、すぐにインターネットで検索できますので、ちょっと調べてみました。



現在は、世界各国で1年を365日と定めた「グレゴリオ暦」(1582年、ローマ教皇グレゴリウス13世が制定したのに由来)が使われています。紀元前8世紀頃、当時世界の中心であったローマでは、グレゴリオ暦の大元となった「ロムルス暦」と

いう暦が使われていました。

ロムルス暦では月の数が10個しかなく、今の1月や2月にあたる月は農業が休みの期間だったという理由で、月が割り当てられていませんでした。つまり、種まきが始まる3月が1年の始まりで、1年は10カ月でした。

その後、月が無い期間があるのは不便だ、という理由で、ロムルス暦を改良した「ヌマ暦」という暦が制定され、これまで使われていた10の月に加えて2つの月が追加されました。これが、今の1月と2月にあたる月になります。ただし、この2つの月は「1年の最後のふた月」とされていました。

整理すると、当時のローマでは1年の最初が3月からで、2月は最後の月でした。またローマでは「偶数は不吉!」とされていたため、月の日数が29日か31日に振り分けられました。加えて当時は1年が355日しかなかったため、最後の月である2月に調整のしわ寄せがいき、2月は28日となりました。

それでも太陽年（地球が太陽の周りを1周する平均日数のこと。約365日5時間48分）と暦に大きなズレが生じてしまったので、その後ユリウス・カエサル（ジュリアス・シーザー）がエジプトの太陽暦を導入して「ユリウス暦」を作りました。

ユリウス暦では平年を365日、4年ごとに1回の閏年（うるうどし）を366日とし、奇数月を31日（大の月）、偶数月を30日（小の月）と決めましたが、2月だけは日数を増やさず、ヌマ暦と同じ28日のままでした。

その後、ユリウス暦よりもさらに精度の高い「グレゴリオ暦」が定められましたが、1年の日数や12の月の構成などに大きな変更はなく、2月はやはり28日のままでした。

というわけで長々と説明してきましたが、2月が28日しかない理由は、「2月は帳尻合わせの月として使われてきたから」ということになります。

ウソみたいな話ですが、どうも本当のようです。

余談ですが、カエサルは7月に自分の名前を付け、(英語で『July (ジュライ)』)。これをまねて、後を継いだアウグストゥスも8月に自分の名前を付け(『August (オーガスト)』)にしたそうです。

コーヒーブレイクーサラリーマン川柳ー

世相や働く人の本音をユーモアたっぷりに詠んだ、33回目となる「サラリーマン川柳コンクール」(第一生命主催)の入選作が発表されました。

ラグビーに関する言葉を取り入れたものや働き方の変化について詠んだものなど100の作品が選ばれました。

私が気に入った5作品を紹介します。

- ▽ **我が家では最強スクラム 妻・娘 (コラフシング)**
- ▽ **「ワンチーム」にわかに課長が 言い始め (磯っぶ)**
- ▽ **おじさんはスマホ使えず キャッシュです (リタイヤ組)**
- ▽ **パソコンを上司に教え 日々多忙 (新入社員)**
- ▽ **令和婚逃して目指すは 五輪婚 (はるP)**

伝統の付属中カルタ大会—第 52 回百人一首大会—

百人一首は、飛鳥時代から鎌倉時代初期までの代表的な歌人百人の和歌を一人一首ずつ集めて作られた秀歌撰(しゅうかせん)です。秀歌撰とは、「優れた歌を集めたもの」という意味です。

現在様々な種類の百人一首がありますが、一般的に『百人一首』というと平安時代末期から鎌倉時代の初めに歌人である藤原定家が選んだ『小倉百人一首』のことを指します。

『小倉百人一首』は、百人の歌人の歌を一首ずつ集めた秀歌撰として最古のもので、現在ある様々な種類の百人一首はこの小倉百人一首を模して作られたものです。

現在の『小倉百人一首』という呼び方は後世の後付で、古くは『小倉山荘色紙和歌』と呼ばれていました。「小倉山荘」というのは、京都の小倉山にあった武将・歌人である宇都宮頼綱の別荘のことです。この小倉百人一首が完成したのは、1235年5月27日なので、5月27日は”百人一首の日”となっています。

百人一首の説明が長くなってしまいましたが、1月18日(土)に、付属中全生徒が参加して行われる、52回目になる伝統のカルタ大会が開催されました。

昨年は、3年生が上位を独占してきましたが、今年度は2年生の躍進ぶりが著しい大会となりました。

私も見学していましたが、カルタ大会というよりスポーツ大会という趣でした。白熱した大会でしたが、入賞された皆さん、誠におめでとうございます。



優勝(グランドチャンピオン) J2-1：塩屋・河村

準優勝 J2-1：岡田・吉村

3位 J1-1：海津・西村・原野 J3-1：槇田・丸茂・村上

復活3位 J2-1：沖中・坂田・松前

24節気

立春(りっしゅん) 2月4日頃。旧暦ではこの日が1年の始めとされていたため、決まり事や季節の節目はこの日が起点になっています。八十八夜、二百十日、二百二十日も立春から数えます。冬至と春分の真ん中で、まだまだ寒いですが、暦の上では旧冬と新春の境い目にあたり、この日から春になります。梅の花が咲き始め、徐々に暖かくなり、春の始まりとなります。

雨水(うすい) 2月19日頃。空から降るものが雪から雨に変わり、氷が溶けて水になる、という意味。草木が芽生える頃で、昔から、農耕の準備を始める目安とされてきました。春一番が吹くのもこの頃です。しかし、本格的な春の訪れにはまだ遠く、大雪が降ったりもします。三寒四温を繰り返しながら、春に向かっていきます。

日本の行事・暦